



## 2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月13日

上場会社名 株式会社 フライトホールディングス  
 コード番号 3753 URL <http://www.flight-hd.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片山 圭一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 松本 隆男

TEL 03-3440-6100

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,358	17.7	291		304		306	
2020年3月期第2四半期	1,153	89.3	130		162		163	

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 305百万円 ( %) 2020年3月期第2四半期 162百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	32.44	
2020年3月期第2四半期	17.29	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	1,706	407	23.9	43.12
2020年3月期	2,294	712	31.1	75.40

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 407百万円 2020年3月期 712百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、開示が可能となった時点で速やかに開示します。

詳しくは添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	9,456,500 株	2020年3月期	9,456,500 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,004 株	2020年3月期	1,004 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	9,455,496 株	2020年3月期2Q	9,455,588 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、個人消費や企業の経済活動が制約を受け、極めて厳しい状況にあります。

このような状況の中、当社グループは、既存顧客向けのシステム開発及び電子決済ソリューション「Incredist」シリーズの開発及び販売に注力いたしました。

コンサルティング&ソリューション事業の大型の基幹システム開発案件において、新型コロナウイルスによる在宅勤務等の影響で一部機能の開発スケジュールが遅延しており、損失見込額として、受注損失引当金繰入額142百万円を売上原価に計上いたしました。しかし本プロジェクトは3年間に渡る大型プロジェクトであり、稼働開始後の保守などを含め、トータルでは十分に利益が出るプロジェクトとなっております。

なお、これ以上のスケジュール遅延を発生させないため、新型コロナウイルス感染予防対策として、本社はオフィスを増床してソーシャルディスタンスを確保し、仙台事業所においては座席間パーテーション設置等を行い、プロジェクトメンバーの出勤率を上げ、開発効率を改善しております。

一方、コンサルティング&ソリューション事業のクラウドインテグレーション部は、在宅勤務体制でGoogle社のクラウドソリューション「G Suite」をベースにしたシステム構築を行っておりますが、これまで通りの開発効率を維持して業務を推進しております。また、新型コロナウイルスによるテレワークの普及に伴い、社内に配備していたサーバ群をクラウドソリューションに移行する企業が増えており、通期に向けて受注は活況な状況であります。

当社グループでは、様々な開発案件に対応するため、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、withコロナ時代における働き方について、柔軟に対応してまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,358百万円（前期比17.7%増）、営業損失は291百万円（前年同期は営業損失130百万円）、経常損失は304百万円（前年同期は経常損失162百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は306百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失163百万円）となりました。

(単位：百万円)

	当第2四半期 (連結)	前第2四半期 (連結)	前年同期比	
			増減額	増減率
C&S事業(*)	281	437	△156	△35.8%
サービス事業	975	636	339	53.4%
ECソリューション事業	101	79	21	27.1%
調整額	—	—	—	—
売上高	1,358	1,153	204	17.7%
C&S事業(*)	△132	△66	△66	—
サービス事業	△25	71	△96	—
ECソリューション事業	9	5	3	70.2%
調整額	△142	△142	△0	—
営業損益	△291	△130	△160	—
経常損益	△304	△162	△141	—
親会社株主に帰属する四半期純損益	△306	△163	△143	—

(\*) C&S事業：コンサルティング&ソリューション事業

セグメントの業績は次のとおりであります。

① コンサルティング&ソリューション事業

コンサルティング&ソリューション事業においては、事業会社の基幹システム開発及び既存顧客向けのシステム開発・保守等を行いました。

また、上記に記載したとおり、大型の基幹システム開発案件において、受注損失引当金繰入額142百万円を売上原価に計上いたしました。

以上の結果、売上高は281百万円（前年同期比35.8%減）、営業損失は132百万円（前年同期は営業損失66百万円）となりました。

② サービス事業

サービス事業においては、電子決済ソリューション「Incredist」シリーズの開発及び販売、並びに無人精算機向けの決済ソリューションやマイナンバーカード関連の新サービスの開発に注力いたしました。

当期に「Incredist Premium」の大型納品があったことにより、増収となっております。営業損益が下がっているのは、上記で述べた開発関連が大きい要素を占めております。これらの開発費の投下は来期に向け競争力のある製品を生み出す源泉となっております。

以上の結果、売上高は975百万円（前年同期比53.4%増）、営業損失は25百万円（前年同期は営業利益71百万円）となりました。

③ ECソリューション事業

ECソリューション事業においては、B2B向けECサイト構築パッケージ「EC-Rider B2B」の開発及び販売に注力いたしました。

来年度まで続く大型案件を受注しており、成長軌道に乗り始めています。

以上の結果、売上高は101百万円(前年同期比27.1%増)、営業利益は9百万円(前年同期比70.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ588百万円減少し、1,706百万円となりました。主な増減要因は、現金及び預金の減少(1,066百万円減)、前渡金の増加(246百万円増)及び仕掛品の増加(223百万円増)であります。

負債は、前連結会計年度末と比べ283百万円減少し、1,298百万円となりました。主な増減要因は、前受金の減少(213百万円減)、未払消費税等の減少(115百万円減)であります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ305百万円減少し、407百万円となりました。主な増減要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上(306百万円)であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの感染症拡大の影響により、顧客企業側の投資計画、事業計画に変更があるかどうか、また緊急事態宣言期間中の在宅勤務体制により大幅に開発効率が低下した分をどれだけ年度末までにリカバーできるかなど、新型コロナウイルス問題に起因する影響を読み切れないため、現時点では通期の連結業績予想の発表を控えさせていただきます。受注状況や開発のリカバリー状況が明確になった段階で速やかに開示いたします。

なお、通期に向けては現時点で20億円以上の受注を見込んでおり、期末に向け業績を上げてまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,575,694	509,573
売掛金	227,110	164,334
商品	105,894	141,347
仕掛品	36,573	259,731
前渡金	180,229	426,532
その他	37,663	69,719
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	2,162,166	1,570,238
固定資産		
有形固定資産	54,717	48,078
無形固定資産	7,687	12,598
投資その他の資産	69,740	75,200
固定資産合計	132,146	135,877
資産合計	2,294,312	1,706,116
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	274,365	137,500
短期借入金	11,664	21,125
1年内償還予定の社債	96,000	124,000
前受金	384,594	170,838
未払消費税等	121,714	6,238
未払法人税等	104,573	7,591
受注損失引当金	76,700	215,800
その他	79,779	36,103
流動負債合計	1,149,391	719,197
固定負債		
長期借入金	208,621	230,273
社債	204,000	328,000
資産除去債務	17,078	18,178
その他	2,300	2,700
固定負債合計	431,999	579,151
負債合計	1,581,391	1,298,348
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,205,123	1,205,123
資本剰余金	1,195,798	1,195,798
利益剰余金	△1,688,217	△1,994,921
自己株式	△1,452	△1,452
株主資本合計	711,252	404,548
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,668	3,219
その他の包括利益累計額合計	1,668	3,219
純資産合計	712,920	407,767
負債純資産合計	2,294,312	1,706,116

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	1,153,566	1,358,103
売上原価	907,423	1,326,961
売上総利益	246,142	31,142
販売費及び一般管理費	377,135	322,457
営業損失(△)	△130,992	△291,315
営業外収益		
受取利息	54	6
助成金収入	2,713	2,000
その他	107	1,739
営業外収益合計	2,876	3,746
営業外費用		
支払利息	24,892	1,437
支払手数料	8,779	12,587
その他	713	2,615
営業外費用合計	34,385	16,639
経常損失(△)	△162,501	△304,209
税金等調整前四半期純損失(△)	△162,501	△304,209
法人税、住民税及び事業税	941	2,095
法人税等調整額	-	400
法人税等合計	941	2,495
四半期純損失(△)	△163,443	△306,704
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△163,443	△306,704

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△163,443	△306,704
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,158	1,550
その他の包括利益合計	1,158	1,550
四半期包括利益	△162,284	△305,153
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△162,284	△305,153

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△162,501	△304,209
減価償却費	14,553	13,155
支払利息	24,892	1,437
売上債権の増減額(△は増加)	△374,729	62,775
たな卸資産の増減額(△は増加)	74,323	△256,435
前渡金の増減額(△は増加)	△545,989	△246,303
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,371	△136,865
前受金の増減額(△は減少)	350,899	△213,756
その他	74,126	△44,100
小計	△549,797	△1,124,300
利息及び配当金の受取額	54	6
利息の支払額	△4,834	△1,437
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△634	△96,759
営業活動によるキャッシュ・フロー	△555,211	△1,222,490
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△39,301	△3,682
無形固定資産の取得による支出	△3,228	△7,600
敷金及び保証金の差入による支出	△7,667	△5,814
その他	△2,838	354
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53,035	△16,741
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	422,000	-
長期借入れによる収入	15,000	40,000
長期借入金の返済による支出	△5,204	△8,887
社債の発行による収入	-	188,582
社債の償還による支出	-	△48,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	431,796	171,695
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,027	1,415
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△175,423	△1,066,120
現金及び現金同等物の期首残高	332,591	1,575,694
現金及び現金同等物の四半期末残高	157,167	509,573

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンサルティング &ソリューション 事業	サービス事業	ECソリューション事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	437,816	636,190	79,558	1,153,566	-	1,153,566
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	437,816	636,190	79,558	1,153,566	-	1,153,566
セグメント利益 又は損失(△)	△66,106	71,816	5,644	11,354	△142,346	△130,992

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンサルティング &ソリューション 事業	サービス事業	ECソリューション事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	281,295	975,689	101,118	1,358,103	-	1,358,103
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	281,295	975,689	101,118	1,358,103	-	1,358,103
セグメント利益 又は損失(△)	△132,856	△25,166	9,605	△148,417	△142,897	△291,315

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。